

千葉県 DX 推進協議会
令和 6 年度通常総会

資 料

令和 6 年 7 月 2 9 日 (月)

千葉県 D X 推進協議会

目 次

議 事

- 議案 1 令和 5 年度事業報告の承認について 1
- 議案 2 令和 5 年度収支決算の承認について 10
- 議案 3 令和 6 年度事業計画の決定について 13
- 議案 4 令和 6 年度収支予算の決定について 15

報 告

- 報告 1 役員の異動及び幹事の委嘱について 16
- 報告 2 会員の入退会について 18
- 報告 3 部会活動について 19
 - ①市民共創推進部会
 - ②DX リテラシ向上対策部会

議案1 令和5年度事業報告の承認について

令和5年度事業報告について、次のとおり承認を求める。

千葉県DX推進協議会 令和5年度事業報告

1 総会等の開催

(1) 通常総会

- ・日 時 令和5年8月4日（金）
- ・場 所 書面開催
- ・議 題 役員を選任の承認について
令和4年度事業報告の承認について
令和4年度収支決算の承認について
令和5年度事業計画の決定について
令和5年度収支予算の決定について
- ・報 告 幹事の委嘱について
会員の入退会について

(2) 幹事会

① 第1回

- ・日 時 令和5年7月25日（火）
- ・場 所 書面開催
- ・議 題 総会に付すべき議案について
部会の設置について
会員の入退会について
千葉県DX推進協議会ホームページの運営について

② 第2回

- ・日 時 令和6年2月16日（金）
- ・場 所 書面開催
- ・議 題 第13回「千葉県内大学による卒業論文発表会」の後援について

2 部会活動

(1) DXリテラシ向上対策部会

- ・設置：平成25年5月27日

(令和5年度の活動企画書承認 令和5年8月14日)

- ・代表者：特定非営利活動法人 ITCちば経営応援隊
- ・参加者：千葉商科大学、船橋情報ビジネス専門学校、習志野市、市原市
- ・目的：DXを推進することで、県民の暮らしを豊かにし、子どもからお年寄りまで一人ひとりが活躍できる社会の実現に寄与する。そのためにはDXリテラシの向上が不可欠である。当部会では、主に自治体職員、学校の教職員に焦点を当て、DXリテラシ向上対策を検討・試験実施している。令和5年度も、昨年の成果・評価を踏まえ、自治体が行政手続きのオンライン化に取り組んでいく上での課題や施策事例を共有し、地域特性に応じた施策検討のための情報交換の場を継続的に提供していく。特に、今年度は先進事例や最新技術に着目し、民間企業や学術機関の協力も頂き、県内先行自治体にとっても興味深い内容となるよう検討を進める。

・活動報告

1. 「行政手続きのオンライン化」に関する共同研究会を下記3回、Webベースで実施した。

①令和5年度第1回共同研究会

日時：令和5年10月12日13時～14時30分

場所：ZOOMによるWebセミナー

目次：第1部 2022年度末 オンライン申請対応状況（達成状況）について～デジタル庁 オンライン化取組み状況に関するフォローアップ調査より～

第2部 書かないワンストップ窓口の取組み紹介

講師：NPO法人 Digital Government Labs 千葉様

(ブレイクアウトセッション)

参加者：19自治体・2団体、51名（オブザーバー含む）

うち講師・運営側 5名

②令和5年度第2回共同研究会

日時：令和5年11月22日16時～17時30分

場所：ZOOMによるWebセミナー

目次：第1部 マイナンバーカード徹底活用

講師：監査法人トーマツ リスクアドバイザー事業本部 小菅様

(ブレイクアウトセッション)

第2部 CIO補佐官の役割

講師：京都府木津川市 デジタル戦略室 阿部様

参加者：14 自治体・3 団体、28 名（オブザーバー含む）
うち講師・運営側 6 名

③令和 5 年度第 3 回共同研究会

日時：令和 6 年 2 月 20 日 16 時～17 時 30 分

場所：ZOOM による Web セミナー

目次：第 1 部 メタバースの歴史と技術

講師：千葉商科大学 人間社会学部 鎌田 様

第 2 部 メタバースの活用事例

講師：東日本電信電話(株) 千葉事業部 高砂 様

第 3 部 市とメタバースの関わり

講師：市原市 総務部情報政策課 中田 様

参加者：16 自治体・3 団体、34 名（オブザーバー含む）

うち講師・運営側 13 名

【自己評価】

今年度は、「行政手続きのオンライン化」の取組み先進事例として、書かないワンストップ窓口、マイナンバー活用事例、メタバースによる電脳市役所を紹介し、意見交換を行った。昨年度までに行ってきた自治体キャッシュレス、マイナポータル/マイナンバーカードからの流れとして、新しい窓口の姿について取り上げた。産官学連携の取組みまで紹介できたことは非常に良かったが、参加自治体・団体数計 30、参加総人数延べ 113 名と、昨年度より参加者が減少する結果となった。（昨年度は 42 団体、延べ 188 名）

要因は、直面する課題から少し離れたテーマだったこと、研究会の開催時間帯が忙しい夕刻だったこと、研究会で情報提供するものの予算検討タイミングと合わないこと、などが考えられる。

来年度は、この反省点を生かし、より身近な課題に IT を活用して取り組んだ事例で、タイミングよく課題検討および事例研究を行っていきたい。

2. DX リテラシ向上のための情報共有・情報発信として、DX リテラシ向上対策部会通信を計 5 回発行した。

配信先：DX 推進協議会メンバーおよび県内各市町村

発行実績：Vol.6（令和 5 年 9 月 13 日発行） ※昨年度から通番

・令和 5 年度活動計画

・サービス設計 12 か条（概要）

Vol.7（令和 5 年 10 月 20 日発行）

・第 1 回共同研究会活動報告

・サービス設計 12 か条（1～3）

・セキュリティ事故解説（顔画像流出）

- ・生成 AI 第 1 回

Vol. 8 (令和 5 年 12 月 4 日発行)

- ・第 2 回共同研究会活動報告
- ・サービス設計 12 か条 (4~6)
- ・セキュリティ事故解説 (PC 不正操作、偽報告)
- ・生成 AI 第 2 回

Vol. 9 (令和 6 年 2 月 29 日発行)

- ・第 3 回共同研究会活動報告
- ・サービス設計 12 か条 (7~9)
- ・セキュリティ事故解説 (情報セキュリティ 10 大脅威)
- ・生成 AI 最終回

Vol. 10 (令和 6 年 3 月 25 日発行)

- ・令和 5 年度活動総括
- ・サービス設計 12 か条 (10~12)
- ・セキュリティ事故解説 (サポート詐欺)
- ・令和 6 年度活動方針 (案)

【自己評価】

DX リテラシ向上対策部会の活動の柱である共同研究会の成果と次回予定を伝え、千葉県全体で共有できるようにするとともに、行政サービス検討時の基本要素、セキュリティの話題、そして ChatGPT に代表される生成 AI に対する考え方と、複数の切り口での情報提供が出来た。

ただ、共同研究会への参加機運向上や発信情報の有効性が把握できていないので、来年度はアンケートなどで意見を収集し、より有効な情報提供になるよう評価・改善を行いたい。

3. 部会開催実績

①令和 5 年度キックオフ部会

日時：令和 5 年 8 月 29 日 16 時~17 時

場所：ZOOM による Web 会議

参加者：8 名 (千葉県 1、千葉商科大学 1、習志野市 1、市原市 1、部会事務局 4)

- 議題：◆ 今年度の活動計画
◆ 共同研究会のテーマおよび進め方検討
◆ 情報発信方法
◆ 部会および研究会日程 他

→今年度より市原市様も検討部会に参加頂くこととなった。当方事務局メンバーは 1 名交代となった。

②令和 5 年度第 2 回部会

日時：令和5年9月12日15時半～16時半

場所：ZOOMによるWeb会議

参加者：8名（千葉県1、千葉商科大学1、習志野市1、市原市1、部会事務局4）

議題：◆ 共同研究会の開催日時と検討テーマの決定

◆ 第3回共同研究会のテーマ検討

◆ 部会通信に関する意見交換

◆ 第1回共同研究会の進め方確認

→各共同研究会の検討テーマを確定し、早々に案内を発信することとした。

第3回では将来的な可能性としてメタバースを取り上げることとした。

③令和5年度第3回部会

日時：令和5年10月31日16時～17時

場所：ZOOMによるWeb会議

参加者：8名（千葉県1、千葉商科大学1、習志野市1、市原市1、部会事務局4）

議題：◆ 第1回共同研究会の振り返り

◆ 第2回共同研究会の進め方

◆ 第3回共同研究会の構成検討

→第2回共同研究会で協力頂く監査法人トーマツ様にも参加頂き講演内容を調整した。

第3回では千葉商科大学・市原市・NTT東日本、産官学共同での講演を依頼することとした。

④令和5年度第4回部会

日時：令和6年1月23日16時～17時

場所：ZOOMによるWeb会議

参加者：8名（千葉県1、千葉商科大学1、習志野市1、市原市1、部会事務局4）

議題：◆ 第3回共同研究会の進め方

◆ 令和6年度活動テーマに関する意見交換

→第3回共同研究会で協力頂くNTT東日本様にも参加頂き講演内容を調整した。

⑤令和5年度第5回部会

日時：令和6年3月19日16時～17時

場所：ZOOMによるWeb会議

参加者：6名（千葉県1、千葉商科大学1、市原市1、部会事務局3）

議題：◆ 令和5年度活動成果、反省点の確認

◆ 令和6年度活動テーマ検討

→令和6年度も行政手続きのオンライン化を基本テーマに、ITを活用した業務の効率化とクラウド移行や活用に関する課題検討を中心に継続検討す

ることとした。

(2) 市民共創推進部会

- ・設置 平成31年1月21日（令和5年7月改称）
- ・代表者 Code for NAGAREYAMA
- ・参加者 Code for Matsudo、シビックテックもばら、Team URA-CIMA
Code for INZAI, Code for Kashiwa
- ・目的 市民共創推進部会は、県全体でのDXの取組を活性化することを目的とし多様な主体を巻き込むイベントの開催や、メリットが感じられるデジタル化の事例共有などを通してDX化を県内全域に取組を広げ、地域課題の解決を促進する。

・活動報告

1. 開催実績と成果

- ・千葉県庁とのオープンデータ活用に関する打ち合わせ（7月12日、1月19日）
- ・DXミートアップ（11月7日）
千葉県デジタル改革推進局と市民団体との間でDX取り組み事例等の情報交換を開催した。
- ・Code for Japan SUMMIT 2023 参加（11月25日）
全国のDX、シビックテック団体が集まるイベントにおいて、千葉県のDXの取組の一環として、市民団体とシビックテックの連携による地域活動の事例共有を行った。
参考：「循環型エコポイントもりポ×ソーシャルハックデー」（3名登壇）
<https://summit2023.code4japan.org/program/546011>
- ・新春デジガバ読経会（1月1日配信）
DX・デジタルガバメントに関わる最新のトピックス（自治体DX、都市経営）について有識者からオンラインでの事例紹介を行った。（4名登壇）[自治体・企業の担当者向け、視聴回数139]
<https://youtu.be/JFJw9fbFb5Q>
- ・International Open Data Day (IODD) 2024 in Chiba（3月10日）
防災分野をテーマに、県内関連団体における取組状況を伺い、能登半島における震災を事例に、今後の千葉県における大規模災害への対応の可能性について考えるイベントを開催した[自治体・企業・市民団体の連携、24名参加]
<https://youtu.be/WT7ymvi0Adw>

2. 課題と次年度への取り組み

市民共創推進部会は、県全体でのDXの取組を活性化することを目的に活動を行っており、本年度は1) 行政(県)と市民(県民)との対話の機会の創出および2) 具体的事例の共有・紹介をすることに注力した。

課題としては、

- 1) については行政側が感じる課題感について市民(県民)としての問題認識との乖離が大きく、どのような対話の場を設定するのが効果的か、その設計が非常に難しいと感じる。
- 2) 具体的事例については、なかなかめざましい事例の掘り起こしが困難であり、日々県内の各種関係団体の取組状況について網を張っておく必要がある。そういった顕著な事例が生まれる土壌の醸成が必要である。

次年度の取組としては、行政との課題感の共有および県内の顕著な優良事例の発掘に向けて、千葉県におけるオープンデータの利活用に焦点を置き、県下の自治体や企業、大学等の関係者との連携を促す活動に取り組む。具体的には①データ利活用の戦略立案の協力、②県庁主催のアイデアソン、ワークショップ等への参画・協力、③UDC(アーバンデータチャレンジ)地域拠点として県内のデータ利活用の推進を想定している。これまで取り組んできた活動のフレーム、イベントの機会を活かしながら、多様な関係者の参加を引き続き促していく。

3 講演会の開催等

(1)「DXセミナー」

日 時 令和5年9月11日(月)午後1時～

場 所 オンラインで開催

視聴人数 124人

内 容

第1部：国内における生成AI開発・活用に向けた取組について

○ 富士通Japan株式会社

- ・生成AIの動向と富士通の取り組みについて

講師：技術戦略本部 調査分析統括部

マネージャー 岡元 大輔 氏

- ・スーパーコンピュータ「富岳」の活用事例のご紹介

講師：コンピューティング研究所

リサーチディレクター 白幡 晃一 氏

○ 日本電気株式会社

- ・生成AIの潮流と、業務改革可能性

講師：NEC Generative AI Hub

エバンジェリスト 野口 圭 氏

第2部：通信量増加等に対する取組について

○ 東日本電信電話 株式会社

・NWトラヒック、電力消費増大を見据えた取り組みについて

講師：デジタル改革本部 デジタルイノベーション部

デジタル戦略部門 担当部長 清水 雅史 氏

(2) デジタルセミナー2023 in 千葉

日 時 令和5年11月9日(木) 午後1時30分～

場 所 千葉大学 IMO棟 I イベントルーム A・B

※ オンライン配信も実施

参加人数 会場31人、オンライン90人

内 容

基調講演

「デジタル田園都市国家構想実現のための地域DXの推進」

講師：総務省 関東総合通信局長 高地 圭輔 氏

講演

「地域との共創による社会価値の創出と課題解決の取組」

講師：千葉大学学術研究・イノベーション推進機 産学官連携推進部

特任准教授・URA 渡邊 史武 氏

「宇宙工学を活用した『AI 果樹園ロボット』によるデータ主導で持続可能な農業への変革に向けて」

講師：輝翠 TECH 株式会社 CEO ブルーム・タミル 氏

「千葉県におけるスタートアップの現状と課題」

講師：株式会社ちばぎん総合研究所 調査部 主任研究員 高城 華楠 氏

「千葉銀行のスタートアップ支援体制」

講師：株式会社千葉銀行 法人営業部

ビジネスソリューショングループ 副部長 羽山 明 氏

(3) 「DXフォーラム」

日 時 令和5年11月29日(水) 午後2時30分～

場 所 千葉市文化センター5階

参加人数 192人

内 容

「NICTの生成AIとその周辺」

講師：国立研究開発法人 情報通信研究機構 (NICT) フェロー

鳥澤 健太郎 氏

「自治体における生成AIの利活用について」

講師：日本マイクロソフト株式会社 パブリックセクター事業本部

公共・社会基盤統括本部 自治体営業本部 本部長

桐戸 優作 氏

(4)「自治体DX推進に係る提案会」

日 時 令和6年3月21日(木)午後2時～

場 所 オンラインで開催

参加団体 16団体(市町村13団体 ベンダー2団体 NPO法人1団体)

<市町村>

千葉市、銚子市、成田市、習志野市、我孫子市、君津市、四街道市、匝瑳市、
香取市、山武市、いすみ市、酒々井町、横芝光町

<ベンダー>

(株)ソリトンシステムズ、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)

<NPO>

特定非営利活動法人ITCちば経営応援隊

内 容 ペーパーレスの推進、公用スマートフォンの業務への活用、
防災・災害DXの推進。

4 協議会ホームページの運営

会員情報、イベント・セミナー等にあわせて適宜更新。協議会名称の変更に伴い、
新規ドメインを取得。

5 参考資料の収集と配付

随時、総務省等からの競争的資金の公募情報やお知らせ、IT関連団体等のイベ
ントの案内を実施。

議案2 令和5年度収支決算の承認について
 令和5年度収支決算について、次のとおり承認を求める。

**千葉県DX推進協議会
 令和5年度収支決算書**

(収入の部)

| 科目 | 予算額(A) | 決算額(B) | 差異(B-A) | 摘要 |
|-------|-----------|---------|----------|------------------------------------|
| | 円 | 円 | 円 | |
| 負担金 | 558,000 | 558,000 | 0 | 県 18,000円 市町村・企業 9000円×60 計61団体 |
| 雑収入 | 25,004 | 6 | △ 24,998 | 預金利息 |
| 前期繰越金 | 441,929 | 441,929 | 0 | |
| 合計 | 1,024,933 | 999,935 | △ 24,998 | |

(支出の部)

| 科目 | 予算額(A) | 決算額(B) | 差異(A-B) | 摘要 |
|-------|-----------|---------|---------|-------------------------------------|
| | 円 | 円 | 円 | |
| 会議費 | 385,200 | 75,000 | 310,200 | ちばDXフォーラムの開催に係る費用負担 |
| 講演関係費 | 71,000 | 48,340 | 22,660 | デジタルセミナー2023 in 千葉 講師負担金 |
| 事務局費 | 260,000 | 187,803 | 72,197 | 協議会Webサーバ・システム利用料、ドメイン取得、 振込手数料等 |
| 企画活動費 | 299,704 | 265,704 | 34,000 | 部会助成費(2部会) |
| 予備費 | 9,029 | 0 | 9,029 | |
| 合計 | 1,024,933 | 576,847 | 448,086 | |

収入総額 999,935

支出総額 576,847

(差引) 次期繰越金 423,088

監 査 報 告 書

規約第6条第3項の規定により、令和5年度会計について監査をいたしました。

その結果については、適正なものと認めます。

令和6年 6 月 10 日

千葉県 DX 推進協議会

監 事

袖ヶ浦市 行政管理課長

原田 拓

監 査 報 告 書

規約第6条第3項の規定により、令和5年度会計について監査をいたしました。

その結果については、適正なものと認めます。

令和6年 6 月 13 日

千葉県 DX 推進協議会

監 事

勝浦市 情報政策課長

有柄吉道

議案 3 令和 6 年度事業計画の決定について

令和 6 年度事業計画について、次のとおり決定を求める。

令和 6 年度事業計画

本県の産・学・官・民が協力連携し、DXを推進することにより、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現及び住民福祉の向上に寄与することを目的として、以下の事業を行う。

1 総会等の開催

- (1) 通常総会
 - ・ 令和 5 年度事業報告・決算の承認
 - ・ 令和 6 年度事業計画・予算案の決定
- (2) 幹事会
 - ・ 協議会の業務の運営に関する事項の企画
 - ・ 部会の設置、入会の承認 等

2 部会活動

- (1) 既存部会の活動支援
- (2) 新規部会の立ち上げ支援

3 講演会等の開催

- (1) 「ちばDXセミナー」の開催
 - ※ 総会と同日開催を予定。セミナー後、DXに関する情報交流・コミュニケーション促進を目的に意見交換会（グループワーク含む）を実施。
- (2) 自治体DX推進に係る提案会
- (3) 「ちばDXフォーラム」の開催（令和 7 年 2 月 7 日）
（（公社）千葉県情報サービス産業協会と共催）

4 企画・活動事業

- (1) DX推進に必要な調査研究事業
- (2) その他協議会の目的を達成するための事業

5 協議会ホームページの運営

6 その他

会員の参考となる関係資料の収集と配付（随時）

令和6年度年間活動計画書

| NO | 事業名称 | 概要等 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----|--------------|---|----|----|-----------------|------------|--------------|----|-------------------------------------|------------------------------|-----|----|---------------|----|
| 1 | 総会 | 令和5年度事業報告・収支決算の承認 令和6年度事業計画・収支予算の決定 | | | | 通常総会 ←→ | | | | 必要に応じて臨時総会の開催 ←→ | | | | |
| 2 | 幹事会 | 協議会の業務の運営に関する事項の企画・立案 部会の設置、入会の承認 等 | | | 幹事会(書面開催) ←→ | | | | | 必要に応じて幹事会の開催(メール審議も活用) ←→ | | | | |
| 3 | 部会 | ①DXリテラシ向上対策部会 ②市民共創推進部会 各部会への支援(新規設置・活動支援等) | | | ←→ | | | | | 部会、イベント等の開催 ←→ | | | | |
| | | | | | | | | | 各部会への参加・運営支援、新たな部会の設置 ←→ | | | | | |
| 4 | 講演会等の開催 | 自治体DXに係る提案会 ちばDXセミナー ちばDXフォーラム | | | | | セミナー開催 ←→ | | 提案会開催 ←→ | | | | フォーラム開催 ←→ | |
| 5 | 企画・活動事業 | DX推進に必要な調査研究事業 | | | | | | | 情報収集(随時)、必要に応じて視察等の実施 ←→ | | | | | |
| 6 | 協議会ホームページの運営 | イベント・セミナー等に合わせて適宜更新 | | | | | | | HP更新(随時) ←→ | | | | | |
| 7 | その他 | 国、関係機関からの情報収集及び提供 | | | | | | | 総務省等からのお知らせ、IT関連団体等のイベントの案内(随 ←→ | | | | | |

議案 4 令和6年度収支予算の決定について

令和6年度収支予算について、次のとおり決定を求める。

令和6年度収支予算(案)

【収入の部】

| 科目 | 予算額 | 前年度 予算額 | 増 減 | 摘 要 |
|-------|-----------|------------|----------|--|
| | 円 | 円 | 円 | |
| 負担金 | 567,000 | 558,000 | 9,000 | 県18,000円、 市町村9,000円×38 民間企業9,000円×23 |
| 雑収入 | 25,004 | 25,004 | 0 | 情報通信月間行事援助金・預金利息 |
| 前期繰越金 | 423,088 | 441,929 | △ 18,841 | |
| 合計 | 1,015,092 | 1,024,933 | △ 9,841 | |

【支出の部】

| 科目 | 予算額 | 前年度 予算額 | 増 減 | 摘 要 |
|--------|-----------|------------|-----------|--------------------------------------|
| | 円 | 円 | 円 | |
| 会議費 | 268,800 | 385,200 | △ 116,400 | 会場等利用費 等 |
| 講演関係費 | 98,000 | 71,000 | 27,000 | 外部講師謝礼、交通経費 等 |
| 事務局費 | 262,986 | 260,000 | 2,986 | 協議会Webサーバ・システム利用料、https化、振込手数料、郵送費 等 |
| 企画活動費 | 377,042 | 299,704 | 77,338 | 部会活動助成費(2部会+年度途中で1部会設置を想定) |
| 雑費・予備費 | 8,264 | 9,029 | △ 765 | |
| 合計 | 1,015,092 | 1,024,933 | △ 9,841 | |

報告1 役員の異動及び幹事の委嘱について

(1) 役員の異動

| 区分 | 役員 | | 備考 |
|-----|-------|---------------------------------|-----------------------|
| 役職名 | 氏名 | 団体・職名 | |
| 会長 | 木村 文和 | 千葉県総務部デジタル改革推進局長 | 人事異動に伴う交代 |
| 副会長 | 今泉 貴史 | 千葉大学情報戦略機構長 | 留任 |
| 〃 | 勝 直人 | 千葉県総務部次長（デジタル改革推進局） | 人事異動に伴う交代 |
| 〃 | 木内 雅巳 | 多古町企画政策課長 | 留任 |
| 〃 | 宮城 和彦 | （公社）千葉県情報サービス産業協会会長 | 留任 |
| 監事 | 原田 拓 | 袖ヶ浦市行政管理課長 | 人事異動に伴う交代 （～6月25日） |
| 〃 | 千田 和也 | 袖ヶ浦市企画政策部長 （企画政策部行政管理課長事務取扱） | 人事異動に伴う交代 （6月26日～） |
| 〃 | 高橋 吉造 | 勝浦市情報政策課長 | 留任 |

(2) 幹事の委嘱 (令和6年7月29日現在)

| | | |
|-----|---|-------|
| 幹事長 | 千葉県総務部デジタル改革推進局デジタル戦略課 課長 | 小坂 陽一 |
| 幹事 | 多古町企画政策課 課長 | 木内 雅巳 |
| 幹事 | いすみ市総務課 課長 | 大家 弘久 |
| 幹事 | 習志野市情報政策課 課長 | 鈴木 貴幸 |
| 幹事 | 船橋市デジタル行政推進課 課長 | 鈴木 基修 |
| 幹事 | 成田市行政管理課 課長 | 秋野 友成 |
| 幹事 | 山武市企画政策課 課長 | 石田 純一 |
| 幹事 | 南房総市管財契約課 課長 | 中村 誠司 |
| 幹事 | 公益社団法人千葉県情報サービス産業協会 事業企画部会 部会長 (理事) | 荒川 典彦 |
| 幹事 | 城西国際大学メディア学部大学院ビジネスデザイン研究科 図書館館長 美術館長 | 袁 福之 |
| 幹事 | 千葉大学情報戦略機構 准教授 | 小室 信喜 |
| 幹事 | 富士通 Japan 株式会社 千葉・茨城公共ビジネス部 シニアマネージャー | 岩城 信行 |
| 幹事 | NTT 東日本 千葉支店 第二ビジネスイノベーション部 第一地域基盤ビジネス グループ 第一地域基盤ビジネス担当課長 | 谷本 有紀 |
| 幹事 | 協同組合シー・ソフトウェア 代表理事 | 谷尾 薫 |

報告2 会員の入退会について

<入会>

| | 団体名 |
|---|-----------------|
| 1 | 株式会社 広域高速ネット二九六 |

<退会>

| | 団体名 |
|---|-----------------------------|
| 1 | C o d e f o r M a t s u d o |